

第20回長野県少年・少女柔道チャンピオン大会中信予選会兼
中信柔道整復師会少年柔道大会中信予選会
開催要項

1. 趣 旨 柔道の普及・発展と次代を担う少年・少女の健全育成を目的に、未来のチャンピオンをめざす県内の小学生が一堂に集い、試合をとおして交流し、日ごろの稽古の成果を試す機会とするものである。
2. 主 催 中信柔道連盟
3. 共 催 中信柔道整復師会
4. 主 管 安曇野市柔道協会
5. 後 援 安曇野市教育委員会
6. 日 時 平成27年5月17日(日) 受付8:30 開会式9:15～
計量を8:30～9:00に行うので時間厳守のこと(5・6年のみ)。
4. 会 場 安曇野市三郷文化公園体育館
5. 参加資格 (1) 長野県柔道連盟に登録をしている下記学年の児童であること。
(2) スポーツ障害保険に加入をしていること。
(3) 個人戦、団体戦の重複登録は認める。
(3) 団体戦出場は単位2チーム以内とする。
(4) 団体戦参加選手は、小学4年生1名、5年生2名、6年生2名(学年順・軽量から順番に先鋒より配列。3年生は出場不可。補欠は認めないが選手変更は開会式前までに所定の用紙にて届け出る。監督1名、チームは分団、道場単位とする。)
(5) 参加チームは全柔連登録チームとする。
6. 競技種目 (1) 団体戦：各チーム5名の点取り対抗戦とする。
(2) 個人戦：小学校1年・2年・3年・4年の学年別、男女別
小学校5年・6年の学年別、体重別(2階級)男女別
7. 試合方法 (1) 個人戦、団体戦共に、国際柔道連盟試合審判規定「少年大会申し合わせ事項」により行う。
(2) 試合時間は個人戦、小学1～4年生は2分間、小学5・6年生は3分間。団体戦、すべて2分間
(3) 優勢勝ちの判定基準は、個人戦は「有効」または指導差1とし、得点差がない場合は僅少差(旗判定)をもって決する(GSは行わない。)
団体戦は「有効」以上とし、技評価が同等・指導差1以下の場合は「引き分け」とする。
(4) 団体得点法、勝敗は勝点の合計による。勝ち数同数の場合、内容差を見る。内容も全く同じの場合は、代表試合(監督推薦)を1回行い、

技による評価（技あり・有効）がない、又は同等、指導差が1差以下の場合には旗判定より必ず優劣を決する。（GSは行わない）

(5) 小学校1～4年生は、第1位～第8位まで必ず決定する。

（5～8位までの順位決定は大会本部一任とする）

(6) 小学5年生（平成16年4月2日から平成17年4月1日の間に生まれた者）は、男子45kg以下級・45kg超級、女子40kg以下級・40kg超級とし、第1位から第4位まで必ず決定する。

(6) 小学6年生（平成15年4月2日から平成16年4月1日の間に生まれた者）は、男子50kg以下級・50kg超級、女子45kg以下級・45kg超級とし、第1位から第4位まで必ず決定する。

8. 表彰 個人戦、団体戦とも優勝、準優勝、3位（2名）を表彰する。

なお、小学1～4年生の各学年男子・女子ともベスト8までの選手及び小学5～6年生の各階級男子・女子ともベスト4までの選手は6月21日（日）の県大会（上田市自然公園総合体育館）に出場できる。

9. 申し込み 4月3日（金）20：00までに下記まで申し込むこと。

（Eメールでの受付申し込みに限る。下記Eメールアドレスへメールし、申し込み用紙のフォーマットを取得すること。）

申込先：中信柔道連盟競技副部長 柿本 聡 宛

Eメール kakimoto2010judo@ae.auone-net.jp

10. 脳震盪の対応について

選手及び指導者は以下の事項について遵守すること。

(1) 大会前1か月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。

(2) 大会中に脳震盪を受傷した選手は、継続して当該大会に出場することは不可とする。

(3) 練習再開に際しては、脳神経外科の診察を受け、許可を得ること。

(4) 当該選手の指導者は大会事務局及び全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

11. その他 (1) 選手の負傷については、応急処置のみ大会本部でおこなうが、事故の責任は負わない。

(2) 出場選手及び監督・保護者は申し込みをした時点で、体格差のある選手との対戦がある場合があることを了承したものとする。

(3) メールでの申し込み時、件名に「第20回チャンピオン大会中信予選会申し込み」と入れること。

(4) 出場選手には、保護者又は保護者を代行できる者が同伴すること。

(5) 成長期の児童であるため、減量は絶対に行ってはならない。

小学校5～6年生は計量をおこなう。

(6) 選手はゼッケンを背部に必ず付けること。